

## 令和3年度以降のハマ弁の方向性の検討について

### 1 趣旨

ハマ弁は、本市と事業者で平成28年度から5年間の協定を締結しており、令和2年度末で当初の協定期間が終了します。

このため、生徒・保護者等に対するアンケート調査や外部の有識者も含めた『横浜市の中学校昼食に関する懇談会』(仮称)からの意見を参考に、ハマ弁のこれまでの取組状況を検証・評価するとともに、選択制の充実に向けて、より使いやすいハマ弁となるよう検討を行い、年度内を目途に令和3年度以降の方向性を決定します。

### 2 懇談会について

#### (1) 意見聴取する事項(案)

##### ア 横浜市の中学校昼食(※)の現状についての評価

- ・生徒、保護者、教職員へのアンケート調査の実施及び調査結果について
- ・横浜市の中学校昼食の現状について
- ・ハマ弁の現状・これまでの取組について 等

※ライフスタイルや日々の都合に合わせて、ハマ弁、家庭弁当、業者弁当から等しく選べる選択制

##### イ 令和3年度以降のハマ弁の方向性について

- ・ハマ弁の利便性向上・次期(令和3年度以降)の事業スキーム等について

#### (2) その他報告事項(事務局で課題を整理し、懇談会に報告)

- ・事業者へのサウンディング調査結果(事業の効率化、参入意思のある事業者確認等)
- ・中長期的な検討として、仮にハマ弁を学校給食法上の給食と位置付けた場合の課題 等

### 3 スケジュール

9月中下旬	第1回懇談会(現状の課題、アンケート調査の実施について等)
10月中下旬	第2回懇談会(アンケート集計結果、他都市の状況報告等)
11月中下旬	第3回懇談会(アンケート結果分析、今後の改善策について等)
12月中下旬	第4回懇談会(令和3年度以降の方向性について)
1月	懇談会の意見を参考に、令和3年度以降の方向性(案)の策定
2月	常任委員会報告(令和3年度以降の方向性について)
3月	令和3年度以降の方向性の決定・公表

## 【参考1】アンケート調査（案）

中学校昼食の実態やハマ弁の現状や改善点等について調査し、令和3年度以降の検討をする上での参考とするため、児童・生徒、保護者、教職員に対するアンケート調査を実施します。

### 《調査項目》

- ・昼食の実態（利用状況、利用理由、昼食で大切にすべきこと等）
- ・ハマ弁の現状、改善等（利用状況、利用理由、満足度、利用しなくなった理由、改善点等）

### 《調査対象》

- ・中学校の生徒、保護者、教職員（各区から1校、各学年から1クラス抽出を想定）
- ・小学校6年生の児童、保護者、教職員（給食室改修校6校、6学年全クラスで実施を想定）

### 《実施時期》

- ・10月上旬～中旬

## 【参考2】横浜市の中学校昼食に関する懇談会（仮称）

### 《委員構成案》

	所属・職名	氏名
外部有識者	神奈川県立保健福祉大学保健福祉学部栄養学科教授	鈴木 志保子
	国士舘大学文学部教育学科教授	鈴木 裕子
	神奈川大学経営学部国際経営学科准教授	山岡 義卓
	横浜市立大学国際商学部国際マネジメント研究科准教授	柴田 典子
	横浜ガストロノミ協議会理事長（霧笛楼総料理長）	今平 茂
保護者の声	横浜市PTA連絡協議会 会長	秋好 直樹
学校現場の声	中学校長会	代表者
	中学校長会健康教育部会	代表者
	小学校長会	代表者
	中学校教育研究部会技術・家庭部会	代表者

事務局：教育委員会事務局健康教育課 オブザーバ：教育委員会事務局及び市長部局関係各課

### 《情報公開について》

- ・会議は原則非公開で開催しますが、開催後に会議概要をホームページ等で公開します。